



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東都水産株式会社

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	30,579	△9.9	353	26.7	358	29.1	273	131.0
23年3月期第1四半期	33,951	△2.2	279	△41.8	278	△42.2	118	△63.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 413百万円 (175.8%) 23年3月期第1四半期 149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.87	—
23年3月期第1四半期	2.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	25,200	9,388	37.3	235.86
23年3月期	24,212	9,084	37.5	228.22

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,388百万円 23年3月期 9,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,000	△12.1	270	△5.7	230	△36.5	200	22.8	5.02
通期	123,000	△9.0	500	61.7	500	49.9	370	—	9.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	40,260,000 株	23年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	452,627 株	23年3月期	452,052 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	39,807,804 株	23年3月期1Q	39,813,380 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びその後の原発事故による電力不足問題などにより、先行き不透明な状況にあります。

水産物卸売市場業界におきましては、東日本大震災に被災された産地からの入荷量の減少、福島第一原発からの汚染水流出による水産物に対する不信感の高まり、電力不足による鮮魚の購買敬遠など、集荷・販売両面で苦戦する厳しい事業環境で推移しました。

このような状況のなか当社グループは、取扱数量の減少傾向に歯止めをかけるため、新しい取引先を積極的に開拓する一方、引き続き販売先と協力し安全でおいしい商品を紹介するなど、消費者の声に耳を傾けた集荷・販売を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、魚価は持ち直しの傾向にありますが、取扱数量が減少したため前年同期と比べ9.9%減少の30,579百万円となりました。売上総利益率の向上、人件費及び販売諸経費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等により営業利益は前年同期と比べ26.7%増加の353百万円、経常利益は前年同期と比べ29.1%増加の358百万円となりました。前年同期には「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」等特別損失の計上が有りましたが、当第1四半期連結累計期間には特別損失の計上が無かったため、四半期純利益は前年同期と比べ131.0%増加の273百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

#### ① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、魚価は持ち直しの傾向にありますが、取扱数量が減少したため、売上高は前年同期と比べ9.3%減少の28,471百万円となりました。売上総利益率の向上、人件費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等に努めました結果、33百万円の営業利益となりました。(前年同期営業損失8百万円)

#### ② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、売上高は水産物の製造加工に携わる連結子会社の売上高が伸び悩んだため、前年同期と比べ18.6%減少の1,934百万円となりました。販売諸経費の削減、貸倒引当金繰入額の減少等に努めました結果、営業利益は前年同期比6.8%増加の270百万円となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、管理物件の稼働率向上に努めました結果、売上高は前年同期と比べ1.4%増加の172百万円となりましたが、売上総利益率が低下し、営業利益は前年同期と比べ15.0%減少の64百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ987百万円増加し、25,200百万円となりました。流動資産は923百万円増加し、16,889百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が624百万円、商品及び製品が390百万円増加したことによるものです。固定資産は64百万円増加し、8,311百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ684百万円増加し、15,811百万円となりました。流動負債は950百万円増加し、11,223百万円となりました。主な要因は、短期借入金が766百万円、支払手形及び買掛金が170百万円増加したことによるものです。固定負債は266百万円減少し、4,588百万円となりました。主な要因は、長期借入金が139百万円、退職給付引当金が128百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ303百万円増加し、9,388百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の37.5%から37.3%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の我が国経済は、東日本大震災による経済停滞や原発事故による電力不足問題などにより、今後も先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況のなか当社グループは、集荷・販売のさらなる機動性確保及び多様化する消費形態に応える安全でおいしい商品の提供に取り組んでまいります。

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表しました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,430	4,330
受取手形及び売掛金	7,230	7,854
商品及び製品	4,728	5,118
仕掛品	63	69
原材料及び貯蔵品	212	317
その他	630	452
貸倒引当金	△1,329	△1,254
流動資産合計	15,965	16,889
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,593	3,580
その他(純額)	2,887	2,888
有形固定資産合計	6,480	6,468
無形固定資産		
	374	496
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,988	2,785
その他	1,188	1,191
貸倒引当金	△2,785	△2,630
投資その他の資産合計	1,391	1,346
固定資産合計	8,246	8,311
資産合計	24,212	25,200
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,308	3,478
短期借入金	5,791	6,558
未払法人税等	122	102
賞与引当金	88	151
関係会社整理損失引当金	205	78
その他	756	853
流動負債合計	10,272	11,223
固定負債		
長期借入金	1,706	1,566
退職給付引当金	1,605	1,476
資産除去債務	92	92
その他	1,450	1,451
固定負債合計	4,854	4,588
負債合計	15,127	15,811

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,621	5,786
自己株式	△60	△60
株主資本合計	8,954	9,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	5
繰延ヘッジ損益	0	1
土地再評価差額金	403	393
為替換算調整勘定	△265	△130
その他の包括利益累計額合計	130	269
純資産合計	9,084	9,388
負債純資産合計	24,212	25,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	33,951	30,579
売上原価	31,906	28,668
売上総利益	2,044	1,910
販売費及び一般管理費	1,765	1,556
営業利益	279	353
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	38	26
通貨スワップ評価益	—	14
その他	13	13
営業外収益合計	58	60
営業外費用		
支払利息	23	19
為替差損	36	31
その他	0	3
営業外費用合計	60	54
経常利益	278	358
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60	—
原状回復負担金	17	—
特別損失合計	77	—
税金等調整前四半期純利益	200	358
法人税、住民税及び事業税	81	101
法人税等調整額	1	△15
法人税等合計	82	85
少数株主損益調整前四半期純利益	118	273
四半期純利益	118	273



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118	273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	13
繰延ヘッジ損益	0	1
土地再評価差額金	—	△10
為替換算調整勘定	99	134
その他の包括利益合計	31	139
四半期包括利益	149	413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149	413
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,402	2,378	170	33,951	—	33,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	663	48	914	(914)	—
計	31,605	3,042	218	34,866	(914)	33,951
セグメント利益又は損失(△)	△8	253	75	320	(41)	279

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△41百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,471	1,934	172	30,579	—	30,579
セグメント間の内部売上高 又は振替高	171	849	28	1,050	(1,050)	—
計	28,643	2,784	201	31,629	(1,050)	30,579
セグメント利益	33	270	64	368	(15)	353

(注)1. セグメント利益の調整額△15百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま  
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。